外国語教育メディア学会（LET）

The Japan Association for Language Education and Technology

第 49 回（2009 年度）全国研究大会

The 49th Annual Conference

大会テーマ　　Conference Theme

外国語教育のパラダイム：
認知、脳、社会文化の統合に向けて

A new paradigm for foreign language education:
Towards the integration of
cognitive science, brain research and sociocultural theory

主催	外国語教育メディア学会（LET）
後援	文部科学省、兵庫県教育委員会、大阪府教育委員会、神戸市教育委員会
期日	2009 年 8 月 4 日（火）～6 日（木）
会場	流通科学大学　University of Marketing and Distribution Sciences
	〒651-2188 神戸市西区学園西町 3-1　Tel.078-794-3555
大会事務局	流通科学大学　水本篤研究室内
	〒651-2188 神戸市西区学園西町 3-1　Tel.078-796-3547
	E-mail:　let2009@let-kansai.org
Conference Website	http://let-kansai.org/2009

ご挨拶

木下 正義　KINOSHITA, Masayoshi

外国語教育メディア学会（LET）会長
President of LET

ＬＥＴ会員諸氏にはご壮健で教育･研鑽にお励みのことと存じます。
今夏のＬＥＴ全国大会は関西支部長･大会実行委員長の竹内　理先生の下、１１名の実行委員の先生達と約1年半前より支部が一丸となって今大会の準備をされ、プログラム作成にご尽力されました。第４９回大会は「外国語教育のパラダイム：認知、脳、社会文化の統合に向けて」をテーマに、８月４日（火）－６日（木）の日程で流通科学大学で開催されます。今大会の目玉は大会テーマのキーワードに沿った3つの基調講演です。「認知科学」の分野から、バイリンガリズムやメタ言語知識と第二言語習得等で世界的に著名な学者であるカナダ･ヨーク大学のエレン･ビアリストーク先生を、「脳科学」の分野から、脳と言語の関連性の解明を研究されている東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉先生を、「社会文化」の分野からは日本語教育を推進されている大阪大学大学院留学センターの西口光一先生を迎えバラエティーに富んだ講演があります。
今大会のワークショップの講座のトピックは“Task-based Language Teaching”、「音読･シャドーイング」、「教師の質問力」、「英語ノートの活用」、「スピーチ入門」、「リスニング教材とテスト作成」、「授業実践データの解析」等が開講されます故、会員諸氏が多く受講されることを希望します。
研究大会のメインである研究発表は当初の発表者の申し込みの出足が鈍かったのですが、最終的には100 件を超える発表申し込みがあり、実行委員会も安堵されたかと思います。昨夏の WorldCALL2008 福岡大会と同様にマルチメディアを含む外国語教育工学、応用言語学、言語教育基礎研究等に関する実践報告及び研究発表が予定されています。会員諸氏が奮って大会参加されますようお願いします。

竹内 理　TAKEUCHI, Osamu

全国大会実行委員長、LET 関西支部長、関西大学

Conference Chair, President of LET Kansai Chapter, Kansai University

「外国語教育のパラダイム：認知、脳、社会文化の統合に向けて」をテーマに、第 49 回全国研究大会が開催されます。いろいろなパラダイムやアプローチが交差する外国語教育学の分野において、それぞれのパラダイム・アプローチをよく知り、そこから統合的な知見を引きだす可能性を探ろうという意図で、今回のテーマは設定されました。このテーマのもと、関西支部では、1 年半前より支部の力を結集して今大会の準備を始め、プログラムを練って参りました。その結果、大会の背骨となる3つの基調講演には、世界的に著名な研究者の参加を得ることができました。「認知科学」の分野では、カナダ・ヨーク大学のエレン・ビアリストーク先生が本大会のために来日されます。「脳科学」の分野では、東京大学の酒井邦嘉先生をお迎えしました。「社会文化」の分野では、大阪大学の西口光一先生をお招きしました。また、LET の全国大会といえば、ワークショップも大きな特色といえるでしょう。ここでは、参加者のみなさんに、いろいろなパラダイムやアプローチに基づいた教室実践や教材作成などを体験していただき、理解を深めていただくことが狙いとなっています。さらに、研究大会の中心となる研究発表・実践報告・シンポジアムも、合計で 100 件をこえるラインナップとなりました。内容も、メディア・CALL の利用はもとより、第二言語習得、脳科学、音声指導、教授法改善、学習者心理、授業実践、小学校英語と幅広く、来年には設立 50 周年を迎える本学会が、応用言語学の全領域を包括する学会へと発展している姿を確認できるものとなっています。そして、決して忘れてはいけないことは、この未曾有の不況下においても、例年と変わらぬ出展をいただきました賛助会員のみなさんのご協力でしょう。これらのすべての要素が、本大会の成功を確実なものにしている、と我々は信じて止みません。

関西支部では、「学会」＝「楽会」の精神で参加者のみなさんが参加してよかった、と思える全国大会の企画・運営を心がけてきました。猛暑の季節ですが、どうか1人でも多くの会員のみなさんに神戸の地を訪れていただき、今回の「楽会」を体験いただけますよう、大会実行委員一同、心よりお願いする次第です。

第 49 回全国研究大会 ― 全体案内

LET2009 National Conference: Overall Schedule

4 August, First Day

10:00–	ワークショップ (Workshops)		
	受付 (Registration) 講義棟 Ⅵ 2 階 (Building Ⅵ 2nd Floor)		
	6201	6202	6203
10:50–12:30	講座 1	講座 4	講座 7
13:30–15:10	講座 2	講座 5	講座 8
15:20–17:00	講座 3	講座 6	講座 9

11:00–12:30	各種委員会 (Committee Meetings)
	6204–6206 & 6302–6303

13:00–17:00	理事会 (National Directors' Meeting)
	本部棟 3 階 大会議室

5 August, Second Day

9:00–	受付 (Registration)
	RYUKA HALL LOBBY

9:30–10:00	開会行事 / LET 学会賞授与式 (Opening Ceremony / LET Awards)
	RYUKA HALL

10:10–11:50	基調講演 1 (Keynote Speech 1)
	[K–1] RYUKA HALL(Bialystok 先生)

11:00–17:00	賛助会員展示 (Commercial Exhibits)
	RYUKA HALL LOBBY、講義棟Ⅵ 2 階&3 階廊下 (RYUKA HALL LOBBY, Building Ⅵ, 2nd–3rd Floor)

12:00–12:45	総会 (General Meeting)
	RYUKA HALL

12:55–15:45	研究発表・実践報告 (Presentations)・公募シンポジウム (Symposiums) 賛助会員デモンストレーション (Demonstrations)									
	6201	6202	6203	6204	6205	6206	6301	6302	6303	6304
(1)12:55–13:25	1–1	2–1	D–1	3–1	4–1	5–1	6–1	7–1	8–1	9–1
(2)13:30–14:00	1–2	2–2	D–2	3–2	4–2	5–2	6–2	7–2	8–2	9–2
(3)14:05–14:35	1–3	2–3	D–3	3–3	4–3	5–3	S–1	S–2	S–3	9–3
(4)14:40–15:10	1–4	2–4	D–4	3–4	4–4	5–4				9–4
(5)15:15–15:45	1–5	2–5	D–5	3–5	4–5	5–5				9–5

13:00–15:15	ポスター発表 (Poster Sessions)
	講義棟 Ⅵ 3 階 (Building Ⅵ, 3rd Floor)
	[P–1]–[P–8]
14:10–15:00	Core time

16:00–17:40	基調講演 2 (Keynote Speech 2)
	[K–2] RYUKA HALL(西口先生)

18:00–19:30	懇親会 / LET 賞受賞者挨拶 (Conference Reception)
	RYUKA DINING

6 August, Third Day

8:50–	受付 (Registration)
	RYUKA HALL LOBBY

9:20–12:45	研究発表・実践報告 (Presentations) 賛助会員デモンストレーション (Demonstrations)									
	6201	6202	6203	6204	6205	6206	6301	6302	6303	6304
(1) 9:20– 9:50	10–1	11–1	D–6	12–1	13–1	14–1	15–1	16–1	17–1	18–1
(2) 9:55–10:25	10–2	11–2	D–7	12–2	13–2	14–2	15–2	16–2	17–2	18–2
(3)10:30–11:00	10–3	11–3	D–8	12–3	13–3	14–3	15–3	16–3	17–3	18–3
(4)11:05–11:35	10–4	11–4	D–9	12–4	13–4	14–4	15–4	16–4	17–4	18–4
(5)11:40–12:10	10–5	11–5	D–10	12–5	13–5	14–5	15–5	16–5	17–5	18–5
(6)12:15–12:45	賛助会員展示内覧		D–11	D–12	賛助会員展示内覧					

10:00–12:15	ポスター発表 (Poster Sessions)
	講義棟 VI 3 階（Building Ⅵ, 3rd Floor）
	[P–9]–[P–17]
11:10–12:00	Core time

11:00–14:30	賛助会員展示 (Commercial Exhibits)
	RYUKA HALL LOBBY、講義棟Ⅵ 2 階&3 階廊下（RYUKA HALL LOBBY, Building Ⅵ, 2nd–3rd Floor）

13:00–14:40	研究発表・実践報告 (Presentations)・公募シンポジウム (Symposiums)									
	6201	6202	6203	6204	6205	6206	6301	6302	6303	6304
(1)13:00–13:30	19–1	20–1	21–1	22–1	23–1	24–1	S–4	S–5	S–6	S–7
(2)13:35–14:05	19–2	20–2	21–2	22–2	23–2	24–2				
(3)14:10–14:40	19–3	20–3	21–3	22–3	23–3	24–3				

15:00–16:40	基調講演 3 (Keynote Speech 3)
	[K–3] RYUKA HALL(酒井先生)

16:40–16:50	閉会行事 (Closing Ceremony)
	RYUKA HALL

8 / 4

10:00– ワークショップ受付 Registration（講義棟VI2 階 Building VI, 2nd Floor）

各種委員会・支部長連絡会

Committee Meetings & Chapter Presidents' Meeting

11:00–12:30

6204–6206（講義棟VI 2 階）, 6302–6303 （講義棟VI 3 階）

理事会

National Directors' Meeting

13:00–17:00

大会議室（本部棟 3 階）

ワークショップ Workshops

10:50–12:30 1 回目 1st

13:30–15:10 2 回目 2nd

15:20–17:00 3 回目 3rd

申込方法	ワークショップに参加ご希望の方は、全国大会サイトよりお申し込みください（http://let-kansai.org/2009）。但し、定員になり次第締め切らせていただきますので、参加ご希望の方はお早めにお申し込みください。
受 講 料	LET 会員：無料 非会員：1,000 円（1 講座ごとの料金です。当日受付にてお支いください）
Signing up:	To sign up for a workshop, please visit the conference website (http://let-kansai.org/2009) and send the necessary information. Application for attendance will be accepted on a first-come, first-served basis.
Fee:	LET members: Free Non-members: ¥1,000 per workshop. Please pay at the reception desk on the day of the workshop.

6201（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

講座番号-1 10:50–12:30

フリーソフトによる音声編集（**Audacity** でリスニングテストを作成）と音声分析（**praat** で発音を見てみる）

講師：長井 克己（香川大学）
Sound editing (*Audacity*) and analysis (*praat*) with free software
Instructor: NAGAI, Katsumi (Kagawa University)

講座番号-2 13:30–15:10

教育実践で得られたデータの解釈：**Excel** でここまでできる

講師：前田 啓朗（広島大学）
Interpretation of data obtained from educational practice:
This is how much you can do with *Excel*
Instructor: MAEDA, Hiroaki (Hiroshima University)

講座番号-3 15:20–17:00

英語教師のためのスピーチ入門

講師：野村 和宏（神戸市外国語大学）
Introduction to public speaking for English teachers
Instructor: NOMURA, Kazuhiro (Kobe City University of Foreign Studies)

6202（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

講座番号-4 10:50–12:30

英語ノートを活用した小学校英語活動

講師：梅本 龍多（関西大学初等部開設準備委員会）
English activities at elementary school using “Eigo Note”
Instructor: UMEMOTO, Ryuta (Preparatory Committee of Kansai University Elementary School)

講座番号-5 13:30–15:10 **講座番号-6** 15:20–17:00

「教師の質問力を高め、授業の質を向上させる」：生徒がワクワクする授業に変身させるコツとは

講師：中嶋 洋一（関西外国語大学）
＊講座-5と講座-6は、同内容になります
The balance of open ended questions and closed questions raise the quality of classes
－Tips to activate your classes with teachers’ questions－
Instructor: NAKASHIMA, Yoichi (Kansai Gaidai University)

6203（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

講座番号-7 10:50–12:30

The one, two, three of designing a task-based lesson

講師： MOSER, Jason（大阪樟蔭女子大学）
Instructor: MOSER, Jason (Osaka Shoin Women's University)

講座番号-8 13:30–15:10 **講座番号-9** 15:20–17:00

音読・シャドーイングからペア QA で発信型を目指そう

講師：溝畑 保之（大阪府立鳳高校）
＊講座-8と講座-9は、同内容になります
Questions and answers activity based on reading-aloud and shadowing practice
Instructor: MIZOHATA, Yasuyuki (Osaka Prefectural Ohtori Senior High School)

8 / 5

9:00– 受付 Registration（RYUKA HALL LOBBY）

開会行事／LET 学会賞授与式

Opening Ceremony / LET Awards

9:30–10:00

RYUKA HALL

司会	水本 篤（流通科学大学）
挨拶	石井 淳蔵（流通科学大学学長）
	木下 正義（LET 会長）
	竹内 理（大会実行委員長、LET 関西支部長、関西大学）
LET 学会賞審査報告	有本 純（関西国際大学）
LET 学会賞授与	木下 正義（LET 会長）
Coordinator	MIZUMOTO, Atsushi (University of Marketing and Distribution Sciences)
Greetings	ISHII, Junzo (President of University of Marketing and Distribution Sciences)
	KINOSHITA, Masayoshi (President of LET)
	TAKEUCHI, Osamu (Conference Chair, President of LET Kansai Chapter, Kansai University)
LET Awards	
Announcement	ARIMOTO, Jun (Kansai University of International Studies)
Presentation	KINOSHITA, Masayoshi (President of LET)

基調講演 1　　**Keynote Speech 1**

10:10–11:50

RYUKA HALL

テーマ	**Cognitive and linguistic consequences of bilingualism across the lifespan**
司会	竹内 理（関西大学）
講演者	BIALYSTOK, Ellen（ヨーク大学）
Coordinator	TAKEUCHI, Osamu (Kansai University)
Speaker	BIALYSTOK, Ellen (York University)

賛助会員展示　**Commercial Exhibits**

11:00–17:00

RYUKA HALL LOBBY、講義棟Ⅵ 2 階＆3 階廊下 （RYUKA HALL LOBBY, Building Ⅵ, 2nd–3rd Floor）

総会　**General Meeting**

12:00–12:45

RYUKA HALL

賛助会員デモンストレーション　**Demonstrations**

12:55–15:45

1. 12:55–13:25　2. 13:30–14:00　3. 14:05–14:35　4. 14:40–15:10　5. 15:15–15:45

6203（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

D-1 **ビデオ教材と動画学習ツール活用法のご紹介**
チエル株式会社 / 株式会社 マクミラン ランゲージハウス
Introducing a new learning tools to the classroom with the use of audio-visual materials
CHIeru Co., Ltd. / MACMILLAN LANGUAGEHOUSE

D-2 **無理と無駄のない学習を目指す Web 学習システム「リンガポルタ」～その発想・技術・特徴～**
株式会社 成美堂
LINGUAPORTA, An Learner-Adaptive Web-based Learning System:
Its Concepts, Technologies and Features
SEIBIDO PUBLISHING CO., LTD.

D-3 **L3とVSSを活用したリスニング、スピーキング学習**
パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）
Listening and Speaking Lesson with the use of L3 and VSS
Panasonic System Solutions Japan Co., Ltd.

D-4 **「TOEIC® スピーキングテスト/ライティングテスト」**
株式会社国際コミュニケーションズ・スクール
TOEIC® Speaking Test / TOEIC® Writing Test
International Communications School Inc.

D-5 **授業とeラーニングのブレンドで、理解度アップ！**
～「THE TOEIC®TEST TRAINER」シリーズ 教科書とeラーニングの効果的活用 ～
センゲージ ラーニング㈱
Improving your English Comprehension by combining e-Learning with Teaching!
–THE TOEIC® TEST TRAINER series with the effective use of textbooks and e-Learning–
Cengage Learning K.K.

研究発表・実践報告　Presentations

12:55–15:45

1. 12:55–13:25　2. 13:30–14:00　3. 14:05–14:35　4. 14:40–15:10　5. 15:15–15:45

6201（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　松本 青也（愛知淑徳大学）　MATSUMOTO, Seiya (Aichi Shukutoku University)
　　吉田 信介（関西大学）　YOSHIDA, Shinsuke (Kansai University)

1-1 **Flash と Hot Potatoes による多読教材の開発と実践**
吉田 信介（関西大学）
Developing an extensive English reading program utilizing Flash and Hot Potatoes
YOSHIDA, Shinsuke (Kansai University)

1-2 **LMS、SNS 環境での TTS 合成音の活用：動画素材中の音声クリップでの利用も含めて**
東 淳一（流通科学大学）
Effective Use of TTS Technology for LMS and SNS
-- Including Sound Clip Embedding within Video Files
AZUMA, Junichi (University of Marketing and Distribution Sciences)

1-3 **仮想 OS を利用したモバイルサーバによるリスニングテストの運用**
安藤 直（名古屋学芸大学）
A Listening Test by Mobile PC Server Utilizing a Virtual OS
ANDO, Tadashi (Nagoya University of Arts and Sciences)

1-4 **電子ノート Vocab Retriever による語彙学習方略使用支援**
田中 洋也（北海道情報大学）
Stimulating vocabulary learning strategies with Vocab Retriever, a self-study tool
TANAKA, Hiroya (Hokkaido Information University)

1-5 **日本語コロケーション学習支援システムの開発**
坂井 美恵子（大分大学）、中溝 朋子（山口大学）、金森 由美（大分大学）
Development of an e-learning material for Japanese collocation learning
SAKAI, Mieko (Oita University), NAKAMIZO, Tomoko (Yamaguchi University),
KANAMORI, Yumi (Oita University)

1. 12:55–13:25　2. 13:30–14:00　3. 14:05–14:35　4. 14:40–15:10　5. 15:15–15:45

6202（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　菅井 康祐（近畿大学）　SUGAI, Kosuke (Kinki University)
二宮 正男（新宿区立落合中学校） NINOMIYA, Masao (Ochiai Junior High School in Shinjuku)

2-1 **絵を活用した語彙習得:語彙提示位置の影響**
古樋 直己（国立津山工業高等専門学校）
The effects of the position of words in vocabulary learning with pictures
FURUHI, Naoki (Tsuyama National College of Technology)

2-2 **ジェスチャーを利用した英語語彙指導の効果:日本人初級英語学習者の場合**
柳瀬 学（関西大学大学院）
The effect of English vocabulary teaching using gesture:
In the case of Japanese beginner's English learners
YANASE, Manabu (Graduate School, Kansai University)

2-3 **中学生の英語学習方略研究:方略使用調査のための質問紙開発**
藪越 知子（関西大学 非常勤講師）、竹内 理（関西大学）
Constructing a questionnaire for assessing the strategy use by Japanese lower secondary school students of EFL
YABUKOSHI, Tomoko (Kansai University), TAKEUCHI, Osamu (Kansai University)

2-4 **「英語習熟度の違いによる『英語・英語学習に対する態度・動機づけ』、『使用する読解ストラテジー』の違い:習熟度の異なる三つの高校の生徒を対象とした質問紙調査から」**
今村 一博（大阪府立吹田東高校）
Japanese EFL High School Students' Attitudes toward English and English Learning and the Recognition of Reading Strategies
IMAMURA, Kazuhiro (Osaka Municipal Suitahigashi High School)

2-5 **PERC コーパスに見られる特徴的な Lexical Bundles の分析**
水本 篤（流通科学大学）、野口 ジュディー（武庫川女子大学）
Analysis of characteristic lexical bundles in the subcorpora of the PERC corpus
MIZUMOTO, Atsushi (University of Marketing and Distribution Sciences),
NOGUCHI, Judy (Mukogawa Women's University)

6204（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　小原 平（東京慈恵会医科大学） OHARA, Osamu (The Jikei University School of Medicine)
狩野 紀子（拓殖大学） KANO, Noriko (Takushoku University)

3-1 **インターラクティブ・リーディングが日本人 EFL 学習者の読解能力に及ぼす影響：内容スキーマと形式スキーマを豊かにして**
中村 博生（新潟県立看護大学）、廣瀬 浩二（明倫短期大学）
The Effect on Japanese EFL Learners' Reading Ability of Interactive Reading, Enriching Content Schema and Formal Schema
NAKAMURA, Hiroki (Niigata College of Nursing), HIROSE, Koji (Meirin College)

3-2 **日本人英語学習者の L1 と L2 における読解過程の共通性と差異：方略使用の観点からの一考察**
木村 智里（京都市立京都御池中学校）
How do L1 and L2 Reading Processes Differ?: A Strategic Perspective
KIMURA, Chisato (Kyoto Oike Junior High School)

3-3 **第二言語の読みにおける reading fluency 育成**
—Diary study を通して見る Repeated Reading の効用と問題点—
田口 悦男（大東文化大学）
Developing reading fluency in ESL: Benefits and problems of repeated reading
TAGUCHI, Etsuo (Daito Bunka University)

3-4 **日本人英語学習者の処理能力と読解**
犬塚 久美子（ヨーク大学 非常勤講師）
Component Skills of English Reading for Japanese University Students
INUTSUKA, Kumiko (York University)

3-5 **ソフトウェアのチャンク提示法による速読訓練の効果**
神田 明延（首都大学東京）、湯舟 英一（東洋大学）、
田淵 龍二（ミント音声教育研究所）、鈴木 政浩（西武文理大学）
The Effect of Fast Reading Training by Displaying Chunks on a Software
KANDA, Akinobu (Tokyo Metropolitan University), YUBUNE, Eiichi (Toyo University), TABUCHI, Ryuji (Mint Institute of Voice Education),
SUZUKI, Masahiro (Bunri University of Hospitality)

1. 12:55–13:25　2. 13:30–14:00　3. 14:05–14:35　4. 14:40–15:10　5. 15:15–15:45

6205（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　山西 博之（関西外国語大学短期大学部）　YAMANISHI, Hiroyuki (Kansai Gaidai College)
山根 繁（関西大学）　YAMANE, Shigeru (Kansai University)

4-1 **Moodle を利用した英語リスニング指導の効果**
田中 英理（大阪医科大学）、山西 博之（関西外国語大学短期大学部）
Effects of listening instruction using Moodle
TANAKA, Eri (Osaka Medical College), YAMANISHI, Hiroyuki (Kansai Gaidai College)

4-2 **オリジナルソフトによる英語イントネーション学習とその効果**
園部 秀行（愛知産業大学短期大学）、上田 誠（愛知産業大学）、山根 繁（関西大学）
A Study of Intonation Practice Using Original Software: Improvement in Pronunciation
SONOBE, Hideyuki (Aichi Sangyo University), UEDA, Makoto (Aichi Sangyo University), YAMANE, Shigeru (Kansai University)

4-3 **三ラウンド・システムに基づいた高校生向け英語リスニング CALL 教材の開発**
桑原 市郎（千葉県立野田中央高校）、高橋 秀夫（千葉大学）
Developing a CALL system for Improving Japanese High School Students' English Listening Skills
KUWABARA, Ichiro (Chiba Prefectural Noda-Chuo Senior High School),
TAKAHASHI, Hideo (Chiba University)

4-4 **統合型英語 Online CALL システムの開発**
高橋 秀夫（千葉大学）、土肥 充（千葉大学）、久保田 正人（千葉大学）、
ロリーン パカリワガン（千葉大学）
A Development of an Integrated CALL System for Improving College Learners' English Skills
TAKAHASHI, Hideo (Chiba University), DOI, Mitsuru (Chiba University),
KUBOTA, Masahito (Chiba University), PAGCALIWAGAN, Lorene (Chiba University)

4-5 **オープンソースソフトウェアを活用した WBT 教材作成法**
岩田 淳（島根大学）
Using open source software to develop WBT materials
IWATA, Jun (Shimane University)

6206（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　小栗 成子（中部大学）　OGURI, Seiko (Chubu University)
山口 高嶺（早稲田大学）　YAMAGUCHI, Takane (Waseda University)

5-1 **使える英文法習得のために優先すべきこと**
—EFL ライティングにみられる誤用傾向からの再確認—
小栗 成子（中部大学）、柳 朋宏（中部大学）、伊藤 嘉奈子（中部大学 非常勤講師）
Elements of Priority for Grammar in Use: An Analysis of Common Errors in EFL Writing
OGURI, Seiko (Chubu University), YANAGI, Tomohiro (Chubu University),
ITO, Kanako (Chubu University)

5-2 **中学校英語教育における3年間を見通したライティング指導**
西田 めぐみ（京都府亀岡市立南桑中学校）
Three-year plan for teaching writing skills at junior high school
NISHIDA, Megumi (Nanso Municipal Jr. High School of Kameoka, Kyoto Prefecture)

5-3 **高校生のライティング指導における音読活動がアウトプットに及ぼす影響**
大八木 康弘（京都府立山城高等学校）
The effect of reading aloud on output in a writing class for high school students
OHYAGI, Yasuhiro (Kyoto Prefectural Katsura High School)

5-4 **デジタル・ストーリーテリングと音読指導**
木村 みどり（東京女子医科大学）
Digital Storytelling and Oral Interpretation
KIMURA, Midori (Tokyo Women's Medical University)

5-5 **繰り返しによるフレーズリーディングと音読指導の実践報告**
高橋 愛紗（京都外国語大学大学院）
Practical Report on Repeated Phrase Reading and Oral Reading Practice
TAKAHASHI, Aisa (Graduate School, Kyoto University of Foreign Studies)

1. 12:55–13:25　2. 13:30–14:00　3. 14:05–14:35　4. 14:40–15:10　5. 15:15–15:45

6301（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

司会　西本 有逸（京都教育大学）　NISHIMOTO, Yuichi (Kyoto University of Education)

6-1 **英語母語話者と日本人学習者の調音に関する研究：MRI 動画を用いた観察**

中村 淳子（神戸大学）、林 良子（神戸大学）

Studies on the articulatory differences between English native speakers and Japanese learners of English: Using MRI imaging

NAKAMURA, Junko (Kobe University), HAYASHI, Ryoko (Kobe University)

6-2 **英文速読プログラムによる学習時の脳血流量変化に関する予備的研究**

湯舟 英一（東洋大学）、田淵 龍二（ミント音声教育研究所）、
神田 明延（首都大学東京）

A preliminary study on blood flow transitions when learning with a faster reading program

YUBUNE, Eiichi (Toyo University), TABUCHI, Ryuji (Mint Phonic Education Group), KANDA, Akinobu, (Tokyo Metropolitan University)

S-1 「公募シンポジウム」のセクションへ　p. 21　参照

1. 12:55–13:25　2. 13:30–14:00　3. 14:05–14:35　4. 14:40–15:10　5. 15:15–15:45

6302（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

司会　高橋 美由紀（愛知教育大学） TAKAHASHI, Miyuki (Aichi University of Education)

7-1 **身体感覚を活性化する指導がインプット処理に及ぼす影響－学習者の身体反応分析より**
山本 玲子（京都教育大学附属京都中学校）
How instruction to activate physical sense effects on input processing:
From analysis of learners' physical reaction
YAMAMOTO, Reiko (Kyoto Junior High School attached to Kyoto University of Education)

7-2 **小学生は e-mail 交換で何を学ぶのか**
國本 和恵（子供英語）
What do children learn by exchanging e-mails in English?
KUNIMOTO, Kazue (Kodomo Eigo)

S-2 「公募シンポジウム」のセクションへ p. 21 参照

1. 12:55–13:25　2. 13:30–14:00　3. 14:05–14:35　4. 14:40–15:10　5. 15:15–15:45

6303（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

司会　生田 祐子（文教大学）IKUTA, Yuko (Bunkyo University)

8-1 **ESP におけるブレンド型プロジェクト学習：社会構成論の視点から**
鈴木 広子（東海大学）、藤枝 美穂（京都医療科学大学）
Blended and project-based learning in ESP: A social constructionist perspective
SUZUKI, Hiroko (Tokai University), FUJIEDA, Miho (Kyoto College of Medical Science)

8-2 **短期海外研修における参加者たちの「学び」**
野澤 和典（立命館大学）
Students' Learning from Short-term Overseas Study Programs
NOZAWA, Kazunori (Ritsumeikan University)

S-3 「公募シンポジウム」のセクションへ　p. 21 参照

6304（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

司会　有本 純（関西国際大学）　ARIMOTO, Jun (Kansai University of International Studies)
　　トーマス･ロブ（京都産業大学）　ROBB, Thomas (Kyoto Sangyo University)

9-1 **Japanese Students' Beliefs and Experiences of Cooperative Learning in a TESOL Graduate Course in the U.S.**
KONISHI-WALLESTAD, Chizuko (The State University of New York at Buffalo)

9-2 **Evaluation of World Englishes Among Japanese Junior and Senior High School Students**
KAWANAMI, Sachiyo (University of Hawai'i at Mānoa),
KAWANAMI, Kazuya (University of Hawai'i at Mānoa)

9-3 **How Does the Level Difference Affect Learners' Beliefs and Actual Behavior to Improve Their Oral Proficiency?**
OZAKI, Hideo (Soka University)

9-4 **The influence of adopting different strategies when answering TOEIC listening items**
SHIZUKA, Tetsuhito (Kansai University)

9-5 **The Effect of the MoodleReader Module on Extensive Reading**
ROBB, Thomas (Kyoto Sangyo University)

公募シンポジウム　Symposiums

14:05–15:45

6301（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

S-1 **認知・脳・社会文化を統合する視座と実践**

西本 有逸（京都教育大学）、新城 岩夫（名古屋学院大学）、佐藤 雄大（名古屋大学）、
水野 邦太郎（福岡県立大学）

Integrative Perspectives and Practices: Cognition, Brain, and Socioculture
NISHIMOTO, Yuichi (Kyoto University of Education),
SHINJO, Iwao (Nagoya Gakuin University), SATO, Takehiro (Nagoya University),
MIZUNO, Kunitaro (Fukuoka Prefecture University)

6302（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

S-2 **新たに始まる小学校英語教育への提言**

井狩 幸男（大阪市立大学）、多田 玲子（神戸親和女子大学）、
吉田 晴世（大阪教育大学）、高橋 幸子（ノートルダム清心女子大学）、
小西-ウォレスタッド 千鶴子（ニューヨーク州立大学バッファロー校）

Prospective proposals to the elementary-school English curriculum
IKARI, Yukio (Osaka City University), TADA, Reiko (Kobe Shinwa Women's University),
YOSHIDA, Haruyo (Osaka Kyoiku University),
TAKAHASHI, Sachiko (Notre Dame Seishin University),
KONISHI-WALLESTAD, Chizuko (The State University of New York at Buffalo)

6303（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

S-3 **プロジェクト型授業による英語学習動機の変化：実践と研究の融合をめざして**

八島 智子（関西大学）、前川 洋子（大阪キリスト教短期大学）、
西田 理恵子（関西大学大学院）、廣森 友人（立命館大学）

Development of English learning motivation through project-based teaching:
Integration of Practice and Research
YASHIMA, Tomoko (Kansai University),
MAEKAWA, Yoko (Osaka Christian Junior College),
NISHIDA, Rieko (Graduate School, Kansai University),
HIROMORI, Tomohito (Ritsumeikan University)

ポスター発表　Poster Sessions

13:00–15:15

講義棟Ⅵ 3 階フロア （Building Ⅵ, 3rd Floor, Hallways）

コアタイム Core time for Group:　14:10–15:00

P-1 **Student Perspectives of the Learning Style Tendencies of Peers and Themselves**
EBERL, Derek (Kyoto Notre Dame University)

P-2 **工学系 ESP 語彙指導のための教材作成:コーパス分析からの示唆**
石川 有香（名古屋工業大学）
A Corpus-Based Study on ESP Technical Words for Material Development
ISHIKAWA, Yuka (Nagoya Institute of Technology)

P-3 **英文多読・速読を効果的に行うためのオリジナル・ブラウザの開発:**
PREMA の Learning Management System を中心に
岡崎 弘信（環太平洋大学）
The Development of the Original Browser for Effective Extensive Reading & Speed Reading: Focusing on the Learning Management System of PREMA
OKAZAKI, Hironobu (International Pacific University)

P-4 **Link Grammar Parser を活用した英文構造出力ソフトウェアの開発**
森 真幸（大阪大学）、後藤 一章（摂南大学）、竹蓋 順子（大阪大学）
Development of Output Software of English Structure by Link Grammar Parser
MORI, Masayuki (Osaka University), GOTO, Kazuki (Setsunan University), TAKEFUTA, Junko (Osaka University)

P-5 **Characterizing EEG in playing a video game for English learning**
NISHIJIMA, Yuki (Kyushu Institute of Technology),
NAKANO, Hideko (Kyushu Women's University),
NATSUME, Kiyohisa (Kyushu Institute of Technology)

P-6 中学生用マルチメディア教材 「英語学びノート」(所沢版)の評価

寺田 恵理 (早稲田大学)、小幡 佳菜絵 (早稲田大学)、
北村 史 (所沢市立教育センター)、塩見 晃平 (NHK エンタープライズ)、
山本 直子 (所沢市立教育センター)、保崎 則雄 (早稲田大学)

Evaluation of a multimedia instructional program, "Eigo Manabi Note" (Tokorozawa version)
TERADA, Eri (Waseda University), OBATA, Kanae (Waseda University),
KITAMURA, Fumito (Tokorozawa Education Center), SHIOMI, Kohei (NHK Enterprises),
YAMAMOTO, Naoko (Tokorozawa Education Center), HOZAKI, Norio (Waseda University)

P-7 「形容詞ソムリエ」を利用した多義学習の有効性

青谷 法子 (東海学園大学)、亀山 太一 (岐阜工業高等専門学校)、
杉野 直樹 (立命館大学)、天谷 祐子 (東海学園大学)

Effectiveness of learning polysemous senses using 'Adjective Sommelier'
AOTANI, Noriko (Tokai Gakuen University),
KAMEYAMA, Taichi (Gifu National College of Technology),
SUGINO, Naoki (Ritsumeikan University), AMAYA, Yuko (Tokai Gakuen University)

P-8 中学校英語教科書におけるライティング・タスク比較分析

柴原 由貴 (筑波大学大学院生)、小早川 真由美 (筑波大学大学院生)

A comparative study of writing tasks in English textbooks used in Japanese junior high school
SHIBAHARA, Yuki (Graduate School, University of Tsukuba),
KOBAYAKAWA, Mayumi (Graduate School, University of Tsukuba)

基調講演 2　　Keynote Speech 2

16:00–17:40

RYUKA HALL

テーマ	ダイアロジズムと第二言語の習得と習得支援
司会	西本 有逸（京都教育大学）
講演者	西口 光一（大阪大学留学生センター）
Theme	Dialogism and Second Language Acquisition and Learning Support
Coordinator	NISHIMOTO, Yuichi (Kyoto University of Education)
Speaker	NISHIGUCHI, Koichi (International Student Center, Osaka University)

懇親会／LET 賞受賞者挨拶

Conference Reception

18:00–19:30

RYUKA DINING

司会	伊庭 緑（甲南大学）
Coordinator	IBA, Midori (Konan University)

8 / 6

8:50– 受付 Registration（RYUKA HALL LOBBY）

賛助会員デモンストレーション Demonstrations

9:20–12:45

1. 9:20–9:50　2. 9:55–10:25　3. 10:30–11:00　4. 11:05–11:35　5. 11:40–12:10　6. 12:15–12:45

6203（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）,

D-6 **音声認識エンジン AmiVoiceソリューションのご紹介**
株式会社アドバンスト・メディア
Introducing AmiVoice Solution, a Speech-Recognition Engine
Advanced Media, Inc.

D-7 **「魔法」の音声読上げ！（ここまで簡単に英語の読上げ・保存ができます）**
HOYA 株式会社
Magical Text-to-Speech System! (It's so easy to read English text and to save the voice.)
HOYA CORPORATION

D-8 **英語音読ソフトウェア SpeaK！による効果的な音読学習方法の紹介**
株式会社ライトハウス
Introducing the effective way of oral reading by Speak!, an English Text-to-Speech Software
Lighthouse, Inc.

D-9 **C-Learning ～ケータイ授業のスタンダード～**
電子システム株式会社
C-Learning – The Standard of Teaching by using cell phones
DENSHI SYSTEM CO., LTD.

D-10 **授業も自習もお任せ！目的に合わせて、効果的な学習ができる ATR CALL BRIX のご紹介**
株式会社内田洋行
Leave both teaching and self-learning to us!
Introducing ATR CALL BRIX, the system making an effective learning possible fitting your purposes
UCHIDA YOKO CO., LTD.

D-11 修了率を意識した E ラーニング

リアル・イングリッシュ・ブロードバンド株式会社

More time on task: e-learning designed to encourage students' self-study

reallyenglish broadband, co., ltd.

＊ **D-12** は、 **D-11** と同時刻に、6204 教室で発表されます。 p. 29 参照

＊[D-12] will be presented in room 6204 in the same time slot as [D-11]. See p. 29.

D-12 ビデオ教材と動画学習ツール活用法のご紹介

株式会社 マクミラン ランゲージハウス / チエル株式会社

Introducing a new learning tools to the classroom with the use of audio-visual materials

MACMILLAN LANGUAGEHOUSE / CHIeru Co., Ltd.

賛助会員展示 Commercial Exhibits

11:00–14:30

RYUKA HALL LOBBY、講義棟Ⅵ 2 階＆3 階廊下 （RYUKA HALL LOBBY, Building Ⅵ, 2nd–3rd Floor）

研究発表・実践報告　Presentations

9:20–12:45

1. 9:20–9:50　2. 9:55–10:25　3. 10:30–11:00　4. 11:05–11:35　5. 11:40–12:10　6. 12:15–12:45

6201（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　淡路 佳昌（東京学芸大学附属世田谷中学校）
AWAJI, Yoshimasa (Tokyo Gakugei University Setagaya Junior High School)
吉成 雄一郎（東京電機大学）　YOSHINARI, Yuichiro (Tokyo Denki University)

10-1 **中国語教育における音声合成ソフト（VOICE TEXT）利用の試み**
蘭　梅（流通科学大学）
Attempt of use the voice synthesis software for Chinese education
LIN, Mei (University of Marketing and Distribution Sciences)

10-2 **TTS 技術を活用した Classroom English の指導とその効果**
片岡 晴美（関西大学大学院）、伊藤 万紀子（大阪府立柏原東高等学校）、
大久保 倫子（京都府立洛水高等学校）
The effects of classroom English practice using TTS (Text-To-Speech) synthesis technology
KATAOKA, Harumi (Graduate School, Kansai University),
ITO, Makiko (Osaka Prefectural Kashiwara-higashi High School),
OKUBO, Rinko (Kyoto Prefectural Rakusui High School)

10-3 **音声情報処理技術を活用した英語発音の自動分類と発音矯正部位の自動推定**
峯松 信明（東京大学）、山内 豊（東京国際大学）
Automatic estimation of learners' pronunciation proficiency using speech technologies
MINEMATSU, Nobuaki (The University of Tokyo),
YAMAUCHI, Yutaka (Tokyo International University)

10-4 **PC ソフトを活用した英語スピーチリズムの学習効果**
樽井 武（電気通信大学）
Learning Effects of English Speech Rhythm by Using PC Software
TARUI, Takeshi (The National University of Electro-Communications)

10-5 **コンピュータソフトの音読評価、その妥当性の検証**
鈴木 政浩（西武文理大学）、阿久津 仁史（聖学院大学）
A Research on the Validity of the Computer Software Evaluation of Reading Aloud Performance
SUZUKI, Masahiro (Bunri University), AKUTSU, Hitoshi (Seigakuin University)

6202（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　小山 敏子（大阪大谷大学）　KOYAMA, Toshiko (Osaka Ohtani University)
柳 善和（名古屋学院大学）　YANAGI, Yoshikazu (Nagoya Gakuin University)

11-1 **口語英語における重要コロケーション発見の試み：CALL 教材開発への応用を見据えて**
後藤 一章（摂南大学）、竹蓋 順子（大阪大学）、森 真幸（大阪大学）
A Corpus-based Approach to Detecting Significant Collocations in Spoken English: An Application to CALL Material Development
GOTO, Kazuaki (Setsunan University), TAKEFUTA, Junko (Osaka University), MORI, Masayuki (Osaka University)

11-2 **L2 メンタルレキシコンのネットワーク構築について**
－3つの関連性に基づくプライミング効果による検証－
磯辺 ゆかり（和歌山大学 非常勤講師）
Network Structures of the L2 Mental Lexicon:Evidence from three types of priming effects
ISOBE, Yukari (Wakayama University)

11-3 **関係性の欲求が及ぼす e-learning 語彙学習への影響**
茅野 潤一郎（新潟県立大学）
The Effects of enhancing the need for relatedness on vocabulary e-learning
CHINO, Junichiro (University of Nigata Prefecture)

11-4 **大学生における語彙力と英語標準テストの関連性 (3)－ディクテーションテストと語彙力－**
古荘 智子（同志社女子大学 嘱託講師）、今井 由美子（同志社女子大学）、
三根 浩（同志社女子大学）、
The Relationship between Vocabulary and English Standardized Tests (3)
-Dictation Test and Vocabulary-
FURUSHO, Tomoko (Doshisha Women's College of Liberal Arts), IMAI, Yumiko (Doshisha Women's College of Liberal Arts), MINE, Hiroshi (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

11-5 **電子辞書使用の方略指導**
小山 敏子（大阪大谷大学）
Teaching Strategies for an Effective Use of Handheld Electronic Dictionaries
KOYAMA, Toshiko (Osaka Ohtani University)

6204（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　南 紀子（創価女子短期大学）　MINAMI, Noriko (Soka Women's College)
野口 ジュディー（武庫川女子大学）NOGUCHI, Judy (Mukogawa Women's University)

12-1 **全学共通科目「英語」の授業実践—TOEIC を中心とした 3 年間の取り組みとその功罪**
田上 優子（福岡女子大学）
TOEIC-Based English Classes at FWU (Fukuoka Women's University):
Merits and Demerits for Learner Autonomy
TANOUE, Yuko (Fukuoka Women's University)

12-2 **非英語専攻学生への TOEIC 課外指導**
南 紀子（創価女子短期大学）、澤入 君子（創価女子短期大学 嘱託講師）
A TOEIC Extracurricular Instruction for Non-English Major Students
MINAMI, Noriko (Soka Women's College), SAWAIRI, Kimiko (Soka Women's College)

12-3 **教職課程履修学生（英語科）への「演劇ワークショップ」実施の評価と考察**
小幡 佳菜絵（早稲田大学）、寺田 恵理（早稲田大学）、北村 史（所沢市教育センター）、保崎 則雄（早稲田大学）
Evaluation and issues of "Engeki-Workshop" for students on English teacher-training course
OBATA, Kanae (Waseda University), TERADA, Eri (Waseda University),
KITAMURA, Fumito (Tokorozawa Education Center), HOZAKI, Norio (Waseda University)

12-4 **Graded Readers を活用した英語多聴授業の試み**
山本 涼一（帝京科学大学）
The Extensive Listening Course with the use of Graded Readers
YAMAMOTO, Ryoichi (The Teikyo University of Science and Technology)

12-5 **ESP アプローチとコーパスを利用した CALL 教室での医学系大学院生を対象とした英語論文指導**
照井 雅子（大阪大学大学院）、野口 ジュディー（武庫川女子大学）
A Case Study of Teaching Journal Paper Writing to Graduate Students in Medicine Using an ESP Approach and Corpora in a CALL classroom
TERUI, Masako (Graduate School, Osaka University),
NOGUCHI, Judy (Mukogawa Women's University)

D-12 **ビデオ教材と動画学習ツール活用法のご紹介**
株式会社 マクミラン ランゲージハウス / チエル株式会社
Introducing a new learning tools to the classroom with the use of audio-visual materials
MACMILLAN LANGUAGEHOUSE / CHIeru Co., Ltd.

6205（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　島谷 浩（熊本大学）　SHIMATANI, Hiroshi (Kumamoto University)
竹野 茂（宮崎公立大学）　TAKENO, Shigeru (Miyazaki Municipal University)

13 -1 **AmiVoice® 音声認識付き英語自律学習支援 CALL 教材:学習者音声の評価を中心に**
石川 保茂(京都外国語大学)、近藤 睦美(帝塚山学院大学)、
クレイグ スミス(京都外国語大学)、永井 一次(株式会社アドバンスト・メディア)
An English CALL teaching aid for self-directed learning of English using the AmiVoice® speech recognition system: Automatic scoring of learners' utterances
ISHIKAWA, Yasushige (Kyoto University of Foreign Studies),
KONDO, Mutsumi (Tezukayamagakuin University),
SMITH, Craig (Kyoto University of Foreign Studies),
NAGAI, Katsuzi (Advanced Media Incorporated)

13-2 **Moodle 教材簡便作成法： LLや CAI の轍を踏まないために**
濱岡 美郎（広島国際大学）
Moodle Activity Made Quick - Not to Follow in the Wake of LL or CAI
HAMAOKA, Yoshiro (Hiroshima International University)

13-3 **Moodle を活用したスピーチの指導**
飯野 厚（法政大学）
Using Moodle for Speech Instruction
IINO, Atsushi (Hosei University)

13-4 **英語能力試験リーディング問題対策としての Moodle グロッサリーモジュールの活用**
原島 秀人（前橋工科大学）
Utilizing the Moodle glossary module for developing reading materials in preparation for English proficiency tests
HARASHIMA, Hideto (Maebashi Institute of Technology)

13-5 **Wikis の英語ライティングへの導入**
安西 弥生（青山学院大学）
Initial Study of Using a Wiki in EFL Writing
ANZAI, Yayoi (Aoyama Gakuin University)

6206（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　石井 和仁（福岡大学）ISHII, Kazuhito (Fukuoka University)
佐藤 明彦（拓殖大学）SATO, Akihiko (Takushoku University)

14-1 シャドーイングと音読を組み合わせたスピーキング演習 ― 学生たちの反応と発音の変化
森 庸子（関西大学 非常勤講師）
Effects of shadowing plus reading aloud activities:
Students' responses and their pronunciation improvement
MORI, Yoko (Kansai University)

14-2 学習者間評価で学生が「上手い」と感じる音読の要素
中西 のりこ（神戸学院大学）
Factors that make “good readers” in peer-evaluation
NAKANISHI, Noriko (Kobe Gakuin University)

14-3 英語聴解学習におけるシャドウイングの有効性に関する実証的研究
柳原 由美子（敬愛大学）
An Experimental Study of Teaching Methods for Developing English Listening Comprehension:
The Effects of Shadowing
YANAGIHARA, Yumiko (Keiai University)

14-4 プロソディー向上におけるシャドーイングの効果: 日本人初期英語学習者
髙木 智記（枚方市立津田中学校）
Effects of shadowing on EFL learners’ prosody: a study of junior high school students
TAKAGI, Tomoki (Hirakata Municipal Tsuda Junior High School)

14-5 音声情報処理技術を活用したシャドーイング自動評価システムの開発
山内 豊（東京国際大学）、峯松 信明（東京大学）、羅 徳安（東京大学）、
川村 明美（東京国際大学）
Development of an automatic evaluation system of EFL learners’ shadowing using speech information processing technology
YAMAUCHI, Yutaka (Tokyo International University),
MINEMATSU, Nobuaki (University of Tokyo),
LUO, Dean (University of Tokyo) KAWAMURA, Akemi (Tokyo International University)

6301（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

司会　尾関 修治（名古屋大学）　OZEKI, Shuji (Nagoya University)
　　中西 正樹（摂南大学）　NAKANISHI, Masaki (Setsunan University)

15-1 グループチャットをショートテストに利用する試み
中西 正樹（摂南大学）
The Attempt to Use Group Chat as a Quiz
NAKANISHI, Masaki (Setsunan University)

15-2 英語学習用ポッドキャスト教材の開発と配信，および自学自習への活用
—Hiroshima University's English Podcast—
榎田 一路（広島大学）
Developing and delivering English learning podcasts: Hiroshima University's English Podcast
ENOKIDA, Kazumichi (Hiroshima University)

15-3 **Podcasting System を活用した English Presentation の授業**
小野 雄一（小山工業高等専門学校）
English Presentation Class Utilizing Podcasting System
ONO, Yuichi (Oyama National College of Technology)

15-4 **LMS を利用したコミュニカティヴな授業と評価**
尾関 修治（名古屋大学）
Communicative Learning and Grading in LMS-based English Classes
OZEKI, Shuji (Nagoya University)

15-5 学外向けの **e-Learning** システムを用いた英語学習支援
安浪 誠祐（熊本大学）
Off-campus using e-Learning system for supporting English learning
YASUNAMI, Seisuke (Kumamoto University)

6302（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

司会　氏木 道人（関西学院大学）SHIKI, Osato (Kwansei Gakuin University)
山本 勝巳（関西福祉大学）YAMAMOTO, Katsumi (Kansai University of Social Welfare)

16-1 日本人英語学習者のストレス知覚の時間遷移に関する検討
山本 勝巳（関西福祉大学）
Japanese Learners' Perception of Stress in English Over Time
YAMAMOTO, Katsumi (Kansai University of Social Welfare)

16-2 英語の歌の学習効果を児童の音声知覚分節単位で探る
川畑 由美子（愛媛女子短期大学 非常勤講師）
The effect of learning English songs: examined by the pupil's word segmentation units of sound perception
KAWABATA, Yumiko (Ehime Women's College)

16-3 リスニング力向上の過程を見る:**Think-aloud protocol** を通して
鈴木 久実（東京都立桐ヶ丘高等学校）
How unsuccessful EFL learners improve their listening ability: Through think-aloud protocol
SUZUKI, Kumi (Tokyo Metropolitan Kirigaoka High School)

16-4 異なる教室環境におけるシャドーイング指導の効果—音声知覚への影響—
倉本 充子（広島国際大学）、西田 晴美（聖母女学院短期大学）、
氏木 道人（関西学院大学）、磯辺 ゆかり（和歌山大学 非常勤講師）
The combined effects of shadowing instruction and classroom equipments on EFL learners' listening perception
KURAMOTO, Atsuko (Hiroshima International University),
NISHIDA, Harumi (Seibo Jogakuin Junior College),
SHIKI, Osato (Kwansei Gakuin University), ISOBE, Yukari (Wakayama University)

16-5 外国語としての英語の聴解練習から見える認知処理:外国語の聴解練習への一考
若林 節子（姫路獨協大学）
Cognitive processing in EFL listening comprehension practice:
An implication to EFL listening comprehension training
WAKABAYASHI, Setsuko (Himeji Dokkyo University)

6303（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

司会　久保田 章（筑波大学）　KUBOTA, Akira (University of Tsukuba)
古村 由美子（九州大学）　FURUMURA, Yumiko (Kyushu University)

17-1 **プランニング活動としての CMC (Computer-Mediated Communication) がもたらす第二言語習得への可能性**
青木 千加子（北海学園大学）
Potential Effect for Second Language Acquisition using Computer-Mediated Communication as Planning
AOKI, Chikako (Hokkai Gakuen University)

17-2 **効果的なブレンディングを目指して:第二言語習得研究からの示唆**
竹井 光子（広島修道大学）、岡田 あずさ（広島修道大学）、大澤 真也（広島修道大学）
More effective blending: Insights from second language acquisition research
TAKEI, Mitsuko (Hiroshima Shudo University),
OKADA, Azusa (Hiroshima Shudo University), OZAWA, Shinya (Hiroshima Shudo University)

17-3 **LMS を用いた EFL ブレンド型授業設計:BBS ディスカション、Blog、Wiki を用いて**
宮添 輝美（東京電機大学）、神田 明延（首都大学東京）
LMS-based EFL blended learning: Empirical research on BBS discussions, blog, and wiki collaboration
MIYAZOE, Terumi (Tokyo Denki University),
KANDA, Akinobu (Tokyo Metropolitan University)

17-4 **TOEIC 対策授業におけるブレンディッド型授業と通常授業の比較検証:自律学習習慣を育む試み**
石川 由紀子（創価大学）
Examining the effectiveness of blended learning and face-to-face classes on TOEIC: Nurturing independent learners
ISHIKAWA, Yukiko (Soka University)

17-5 **Repair Your English through TOEFL® Test ITP Practice を利用した Blended 学習**
宍戸 真（順天堂大学）
Report on Blended Learning with Repair Your English through TOEFL® Test ITP Practice
SHISHIDO, Makoto (Juntendo University)

6304（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

司会　跡部 智（慶應義塾普通部）　ATOBE, Satoshi (Keio Futsubu School)
若本 夏美（同志社女子大学）
WAKAMOTO, Natsumi (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

18-1 **Self-Focused College EFL Classes for Successful Character Forming and the Maturity of Spirit: Aimed at Critical Self-Awareness**
KANAOKA, Masao (Kagoshima University)

18-2 英語学習教材を自律的に継続利用するためのストラテジートレーニング
若本 夏美（同志社女子大学）
Strategy training to help learners use English learning materials continuously and autonomously
WAKAMOTO, Natsumi (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

18-3 大学生の英語学習動機に影響を与える教員の行動
—Motivating/De-motivating 両面からのアプローチ—
杉田 麻哉（関西大学 非常勤講師）、石田 侑吾（関西大学大学院）、竹内 理（関西大学）
Teachers' influence on Japanese university students' motivation:
Focusing on motivating/demotivating factors
SUGITA, Maya (Kansai University), ISHIDA, Yugo (Graduate School, Kansai University)
TAKEUCHI, Osamu (Kansai University)

18-4 外国語学習セルフアクセスセンターで起こる学びの構造化
—構造構成主義を理論的枠組みとして—
柴田 里実（常葉学園大学）
Structuring the Process of Learning in a Self Access Language Learning Center
-A Theoretical Analysis Based on Structural Constructivism-
SHIBATA, Satomi (Tokoha Gakuen University)

18-5 **An Investigation of Factors Concerning Willingness to Communicate and Interests in Foreign Countries among Young Learners**
NISHIDA, Rieko (Graduate School, Kansai University),
YASHIMA, Tomoko (Kansai University)

ポスター発表　Poster Sessions

10:00–12:15

講義棟Ⅵ 3 階フロア （Building Ⅵ, 3rd Floor, Hallways）

コアタイム Core time for Group:　11:10–12:00

P-9　**英語母語話者との e-mail communication における日本人英語学習者の気づき**
佐々木 顕彦（関西学院中学部）
L2 vocabulary awareness and its effect on language learning:
A case study in NS-NNS e-mail communication
SASAKI, Akihiko (Kwansei Gakuin Junior High School)

P-10　**Integrative CALL and Some Guidelines for the Computer Assisted Language Learning**
KOBAYASHI, Wakako (Chuo University)

P-11　**シャドーイング・マネージャーを利用した効果的な音読練習**
熊田 岐子（創価大学）
Effective oral reading practice with Shadowing Manager
KUMADA, Michiko (Soka University)

P-12　**4肢選択式短文穴埋め問題データベースと問題作成ソフト:**
紙媒体素材・e-learning 素材・Moodle 対応型 XML 素材の自動作成
神谷 健一（大阪工業大学）、北尾 謙治（同志社大学）、
山内 真理（神戸海星女子学院大学）
Development of a Multiple-choice Quiz Generator
--An Effective Way of Making Paper-based and Moodle-based Materials
KAMIYA, Kenichi (Osaka Institute of Technology), KITAO, Kenji (Doshisha University)
YAMAUCHI, Mari (Kobe Kaisei College)

P-13 **英語音声・動画教材共有システムの開発：CMS の選定と中学・高校が求めるコンテンツの検討**

茅野 潤一郎（新潟県立大学）、大湊 佳宏（長岡工業高等専門学校）

Building of the Audio and Video File-sharing System for English Teachers at High Schools: Examination of CMS Selection and Desired Contents

CHINO, Junichiro (University of Nigata Prefecture),
OMINATO, Yoshihiro (Nagaoka National College of Technology)

P-14 **聴解力測定にはどのテストが最も有効なのか－望月語彙サイズ測定テスト，Vocabulary Levels Test, Vocabulary Size Test, Productive Levels Test, Word Associate Test, C-Test との相関性の視点からの考察－**

森永 弘司（同志社大学 嘱託講師）、竹村 理世（立命館大学 非常勤講師）

Which test is the most reliable for measuring listening comprehension ability: An examination from the viewpoint of correlation coefficients between listening comprehension tests and Vocabulary Levels Test, Vocabulary Size Test, Productive Levels Test, Word Associates Test and C-Test.

MORINAGA, Koji (Doshisha University), TAKEMURA, Riyo (Ritsumeikan University)

P-15 **Empirical learning of second language acquisition for teacher development: Using community involvement learning**

SASAKI, Masako (Akita University)

P-16 **小学校指導者用英語語彙学習プログラムの開発**
－Flash，Captivate ＋LMS を使って

石塚 博規（北海道教育大学旭川校）

Development of English Vocabulary Learning Program for Elementary School Teachers: Using Flash, Captivate, and LMS

ISHIZUKA, Hiroki (Hokkaido University of Education)

P-17 **小学校の教科書分析から CALP を可視化する**

河野 円（星薬科大学）、臼井 芳子（獨協大学）

Reconceptualizing CALP through a Primary School Textbook Analysis

KAWANO, Madoka (Hoshi University), USUI, Yoshiko (Dokkyo University)

研究発表・実践報告　Presentations

13:00–14:40

1. 13:00–13:30　2. 13:35–14:05　3. 14:10–14:40

6201（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　土屋 武久（武蔵大学）　TSUCHIYA, Takehisa (Musashi University)

19-1 日本人 EFL 学習者はプレタスクプランニング中にどのような準備を行うのか
—ストラテジー使用の調査から—
今野 勝幸（筑波大学大学院）
How Do Japanese EFL Learners Prepare for Oral Production During Pre-Task Planning: Exploring Strategy Use of the Learners
KONNO, Katsuyuki (Graduate School, University of Tsukuba)

19-2 **Reconsidering Autonomy of University EFL Freshmen in Japan in two Extensive Reading Classes: Examining Narratives in their Interview, Blogs, and Journals**
KAWABE, Takayo (Graduate School, Kansai University)

19-3 リスニング教材としての高校検定教科書の英語と生の英語の比較研究
竹蓋 順子（大阪大学）、後藤 一章（摂南大学）、森 真幸（大阪大学）
Comparison of English in High School English Textbooks and Authentic English as Listening Materials
TAKEFUTA, Junko (Osaka University), GOTO, Kazuaki (Setsunan University), MORI, Masayuki (Osaka University)

1. 13:00–13:30　2. 13:35–14:05　3. 14:10–14:40

6202（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　佐々木 顕彦（関西学院中学部） SASAKI, Akihiko (Kwansei Gakuin Junior High School)

20-1 **多義語としての前置詞学習における注釈としてのイメージ利用の有効性**
―認知意味論的観点から―
佐藤 健（東京農工大学）
The effectiveness of imaginary glosses in learning EFL prepositions as polysemous vocabulary from the perspective of cognitive semantics
SATO, Takeshi (Tokyo University of Agriculture and Technology)

20-2 **日本の英語教科書コーパスを基準とした ESP 特徴表現の抽出**
田中 省作（立命館大学）、小山 由紀江（名古屋工業大学）
Extraction of Domain-Specific Expressions Based on Authorized English Textbooks in Japan
TANAKA, Shosaku (Ritsumeikan University),
KOYAMA, Yukie (Nagoya Institute of Technology)

20-3 **L1ライティングのL2ライティングに対する有効性：**
中学生の和文産出活動は英文産出量に影響するか
表 昭浩（関西大学大学院生）
Research on the efficacy of L1 writing to L2 writing: through the relationship between L1 production and L2 production with a view to enhancing the ability to express for Japanese students in lower secondary school
OMOTE, Akihiro (Graduate School, Kansai University)

1. 13:00–13:30　2. 13:35–14:05　3. 14:10–14:40

6203（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　香取 久子（東京電機大学）　KATORI, Hisako (Tokyo Denki University)

21-1 **コミュニケーション活動における主体的な学びの姿勢と英語表現力**
関田 信生（東海大学教育開発研究所）
How learner autonomy emerging through activities affects writing
SEKITA, Nobuo (Tokai University's Research Institute of Educational Development)

21-2 **イメージと事実とのずれが対人関係に与える影響：**
英語社会での葛藤対処方法の認知過程に関して
古村 由美子（九州大学）
The influence of differences between images and facts on interpersonal relationships:
With the reference to cognitive processes of conflict management in English
FURUMURA, Yumiko (Kyushu University)

21-3 **タスクの複雑さと英作文の客観的評価指標の関係**
久保田 章（筑波大学）
Task complexity and objective measures of writing performance in English
KUBOTA, Akira (University of Tsukuba)

1. 13:00–13:30　2. 13:35–14:05　3. 14:10–14:40

6204（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　保崎 則雄（早稲田大学）　HOZAKI, Norio (Waseda University)

22-1 **外国語学習の自律を阻むビリーフの要因**

近藤 睦美（帝塚山学院大学）

Beliefs about foreign language learning and their negative relationship to autonomy

KONDO, Mutsumi (Tezukayamagakuin University)

22-2 **達人英語教師に学ぶもの：授業観察における視点の比較研究**

末澤 奈津子（関西大学大学院修了生）

What can we learn from expert English teachers?: A comparative study of perspectives between experts and novices in the Japanese Junior high school EFL context

SUEZAWA, Natsuko (Graduate School, Kansai University)

22-3 **日本人教師の英語動機づけ方略の認識とその使用**

篠原 みゆき（兵庫県立西宮南高等学校）

Motivational Strategies in Language Instruction: The Case of EFL Teaching in Japan

SHINOHARA, Miyuki (Hyogo Prefectural Nishinomiya-minami High School)

1. 13:00–13:30　2. 13:35–14:05　3. 14:10–14:40

6205（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　石川 有香（名古屋工業大学）　ISHIKAWA, Yuka (Nagoya Institute of Technology)

23-1 **小学校英語における文字導入のすすめ－－電子教材が切り開く可能性**

田淵 龍二（ミント音声教育研究所）、マイク キャネヴァリ（マイ・イングリッシュ）

Introducing Reading and Writing to Elementary Students -- By Use of Computer Software

TABUCHI, Ryuji (Mint Phonic Education Group), CANEVARI, Mike (MY English)

23-2 **小学校英語活動における情意的要因についての研究**
—エスノグラフィックアプローチを用いて—

田村 朋子（関西大学大学院）

Affective factors found in English language activity classes in a Japanese elementary school: An ethnographic approach

TAMURA, Tomoko (Graduate School, Kansai University)

23-3 **小学校における「英語ノート」活用への提案**
—動詞の Token Frequency、および Type Frequency への小学生の認知的な学びに着目して—

柏木 賀津子（大阪教育大学）

Suggestions for Using "English Notebook" in Elementary School: Focus on the Cognitive Leaning of Elementary School Children towards Both Token Frequency and Type Frequency of Verbs

KASHIWAGI, Kazuko (Osaka Kyoiku University)

1. 13:00–13:30　2. 13:35–14:05　3. 14:10–14:40

6206（講義棟VI 2 階 Building VI, 2nd Floor）

司会　柏木 哲也（北九州大学）　KASHIWAGI, Tetsuya (Kitakyushu University)

24-1 **TEASY（ティージー）項目バンクによるテスト問題・教材の有効再利用法**
平井 明代（筑波大学）
An effective way to recycle test items and teaching materials by using the TEASY item bank
HIRAI, Akiyo (University of Tsukuba)

24-2 **TOEIC®テスト問題集に見られる英語素材の分析 ― 教養教育という視点から ―**
加藤 知子（星城大学）、神野 真寿美（星城大学）
TOEIC® English Texts for General Education
KATO, Tomoko (Seijoh University), JINNO, Masumi (Seijoh University)

24-3 **日米 EFL-JFL 教育環境の連携によるコンパラブル学習者コーパスの構築：談話レベルのメタ言語意識の促進の視点から**
竹井 光子（広島修道大学）、藤原 美保（ウィラメット大学）
Collaborative compilation of comparable EFL/JFL learner corpora in Japan/US:
Raising discourse-level metalinguistic awareness
TAKEI, Mitsuko (Hiroshima Shudo University), FUJIWARA, Miho (Willamette University)

公募シンポジウム　Symposiums

13:00–14:40

6301（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

S-4 **ブレイン・イメージングと外国語教育研究 -その可能性と限界点について-**

竹内 理（関西大学）、石川 慎一郎（神戸大学）、池田 真生子（関西大学）、
水本 篤（流通科学大学）

Brain imaging and its use in foreign language education research: Possibilities and limitations
TAKEUCHI, Osamu (Kansai University), ISHIKAWA, Shinichiro (Kobe University),
IKEDA, Maiko, (Kansai University),
MIZUMOTO, Atsushi (University of Marketing and Distribution Sciences)

6302（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

S-5 **小学校英語教育における教員研修の役割とメディアリテラシーの位置づけ**

高橋 美由紀（愛知教育大学）、柳 善和（名古屋学院大学）、柴田 里実（常葉学園大学）

The Role of In-service Training for Elementary School Teachers and the place of Media Literacy in Elementary School English Teaching
TAKAHASHI, Miyuki (Aichi University of Education),
YANAGI, Yoshikazu (Nagoya Gakuin University),
SHIBATA, Satomi (Tokoha Gakuen University)

6303（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

S-6 **TPR：小学校英語活動と中学校英語教育との接続及びコミュニケーションと入試に対応できる英語力の育成におけるその有効性と役割**

鈴木 寿一（京都外国語大学）、黒川 愛子（宇治市立西小倉中学校）、
高尾 渚（吹田市立千里丘中学校）、角田 実環（京都市立嘉楽中学校）、
伊藤 めぐみ（京都府立桃山高等学校）

TPR: its effectiveness and roles in connecting elementary school English activities to junior high school English education and for developing students' English ability for communication and university entrance examinations
SUZUKI, Juichi (Kyoto University of Foreign Studies),
KUROKAWA, Aiko (Uji Municipal Nishiogura Junior High School),
TAKAO, Nagisa (Suita Municipal Senrioka Junior High School),
KADOTA, Miwa (Kyoto Municipal Karaku Junior High School),
ITO, Megumi (Kyoto Prefectural Momoyama Senior High School)

6304（講義棟VI 3 階 Building VI, 3rd Floor）

S-7 **英語リーディングにおける流暢性をいかに高めるか：理論と実践の統合**
門田 修平（関西学院大学）、藤田 賢（三重県立飯野高等学校）、
野呂 忠司（愛知学院大学）、氏木 道人（関西学院大学）
How to promote fluency in EFL reading: Combining theory and practice
KADOTA, Shuhei (Kwansei Gakuin University),
FUJITA, Ken (Mie Prefectural Iino High School), NORO, Tadashi (Aichi Gakuin University),
SHIKI, Osato (Kwansei Gakuin University)

基調講演 3　　Keynote Speech 3

15:00–16:40

RYUKA HALL

テーマ	**第二言語獲得の脳科学**
司会	竹内 理（関西大学）
講演者	酒井 邦嘉（東京大学）
Theme	Neuroscience of Second Language Acquisition
Coordinator	TAKEUCHI, Osamu (Kansai University)
Speaker	SAKAI, Kuniyoshi (Tokyo University)

閉会行事　　Closing Ceremony

16:40–16:50

RYUKA HALL

司会	水本 篤（流通科学大学）
挨拶	見上 晃（LET 関東支部長、拓殖大学）
Coordinator	MIZUMOTO, Atsushi (University of Marketing and Distribution Sciences)
Closing Remarks	MIKAMI, Akira (President of LET Kanto Chapter, Takushoku University)

大会事務局からのお知らせ

Conference Committee Information

1. 受付・参加費について　Registration and Conference Fee

① 大会受付は、2 日目の 8 月 5 日（水）と 3 日目の 8 月 6 日（木）に RYUKA HALL ロビーで行います。
② LET 会員の方は、無料でご参加いただけます。各支部受付で参加登録をし、名札をお受け取りください。
③ 非会員の方は当日受付で、当日会費 3,000 円（学生当日会費 1,500 円）を納入し、当日会員用の名札をお受け取りください。当日会員の資格は大会期間中有効です。なお、各支部受付にて入会手続きをおとりいただき、年会費をお支払いいただきますと当日会費は無料となります。
④ 団体会員はお一人のみ会員扱いとなります。お二人目以降の参加につきましては、当日会費を各支部の受付でお支払いください。
⑤ 大会期間中は名札が会員証となります。会場では名札をおつけください。

(1) The conference registration desk will be in RYUKA HALL on August 5 and 6.
(2) The conference is free for LET members. Register with your Chapter and receive your name card.
(3) The conference registration for non-members is ¥3,000 (¥1,500 for students). If LET member registration and the annual membership fee are submitted on site, the conference fee will be waived.
(4) Only one person is allowed to attend for each group membership. The conference registration fee will apply from the second person.
(5) Please wear your conference name card throughout the conference.

2. 発表要項集について　Conference Handbook

大会期間中、受付にて販売しております。一部 2,000 円です。
The Conference Handbook is available at the registration desk for ¥2000.

3. 懇親会について　Conference Reception

懇親会は大会 2 日目の 8 月 5 日（水）に、会場校の「RYUKA DINING（レストラン）」で行います。会費は 4,000 円です。当日は、朝より懇親会受付カウンターをもうけております。定員になり次第、受付を終了させていただきますので、お誘い合わせの上、お早めにお申し込みください。
The conference reception will be held on August 5 (Wednesday) in RYUKA DINING. The fee is ¥4,000. Registration will be accepted on a first-come, first-served basis on the morning of August 5.

4. 昼食・休憩について　Lunch and Lounge

大会期間中は会場校の「RYUKA DINING（レストラン）」が営業しております。また、学内にローソンもありますので、どうぞご利用ください。休憩は講義棟VI 1 階のみかんホールでおとりください。なお、大学の館内は全面的に禁煙です。お煙草は、キャンパス内の灰皿設置場所にてお願いいたします。

(1) RYUKA DINING will be open for business during the Conference.
(2) The lounge on the First Floor of Building 6 (MIKAN HALL) will be open during the conference. Please smoke only in designated areas outside the building.

5. 会場への交通について　Getting to the Venue

会場へはできるだけ公共機関をご利用ください。
Please use public transportation to get to the venue.

6. 出張依頼状について　Letter of Request for Attendance

出張依頼状が必要な方は、大会 2 週間前までに大会事務局に文書(封書)でお申し込みください。その際、宛名をお書きいただき、必要な切手を貼った返信用封筒を同封してください。なお、指定の書式がある場合は併せてお送りください。
For those requiring a letter of request for attendance, please send a written application for this by postal mail to the conference secretariat before July 21, 2009. Please include a self-addressed, stamped return envelope. If a certain form or format is necessary, please include this with your request.

7. 宿泊などについて　Accommodation

大会事務局では、宿泊の斡旋はいたしておりませんので、各自でご手配ください。
Unfortunately, no accommodation service is available through the conference secretariat. Please make your own accommodation arrangements.

8. クローク・サービスについて　Cloakroom

3 日目の 8 月 6 日（木）には、RYUKA HALL でクロークをご利用いただけます（無料）。
There will be a cloakroom in RYUKA HALL to leave your baggage on August 6 (Thursday). The service is free of charge.

9. インターネット・サービスについて（予定）　The Internet

大会期間中、講義棟VI1 階のメディア・センターでインターネット接続された PC が無料でご利用いただけます。大学の館内では無線 LAN のサービスは提供していませんのでご注意ください。
PCs with Internet connection may be available (no charge) at the Media Center on the 1st floor of Building 6. No wireless network is available.

10. HP への写真掲載承諾願い　　Request for permission to use photos

本大会終了後、発表会場や懇親会などの様子（写真）を大会 HP に掲載する予定です。写真の掲載を希望されない方は、事前に大会事務局までご連絡ください（email: let2009@kansai.org）。ご連絡がない場合は、承諾されたものとさせていただきます。

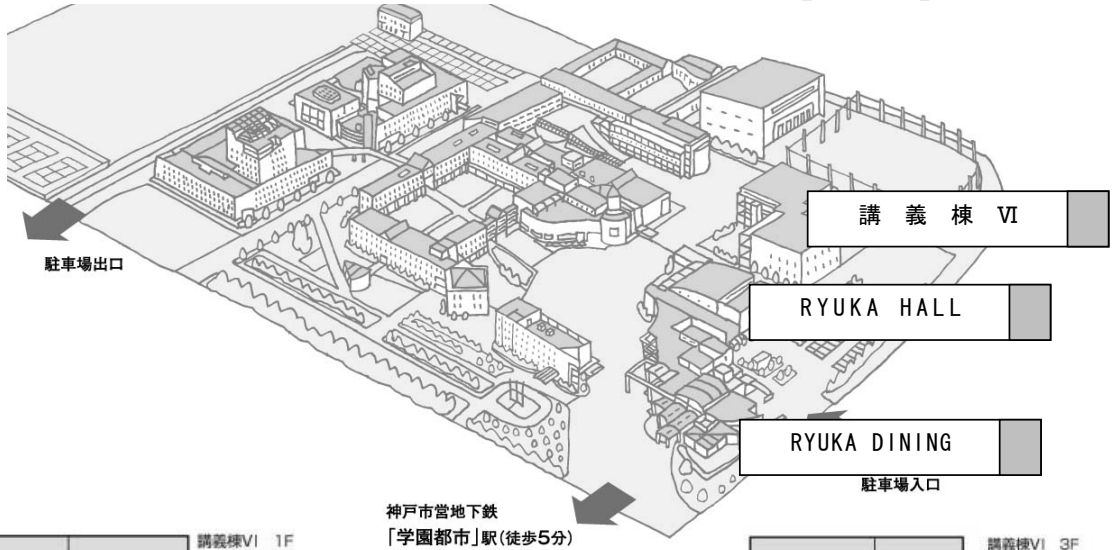
Photos taken during the conference will be displayed on the conference website. Presenters or other participants who are NOT willing to permit the posting of his/her photos on the website should notify the conference office in advance (email: let2009@kansai.org).

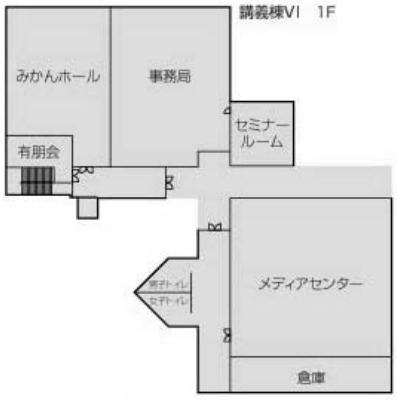
11. 緊急連絡先　　Emergency contact number

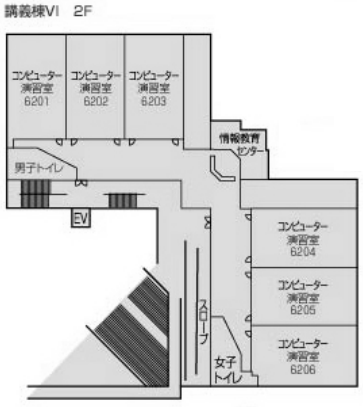
緊急の場合、090-9699-7619（事務局）にご連絡ください。

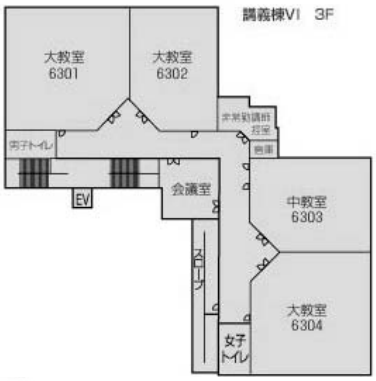
In emergency cases, please call 090-9699-7619 (LET2009 Office).

会場・講義棟VI平面図　　Campus Map

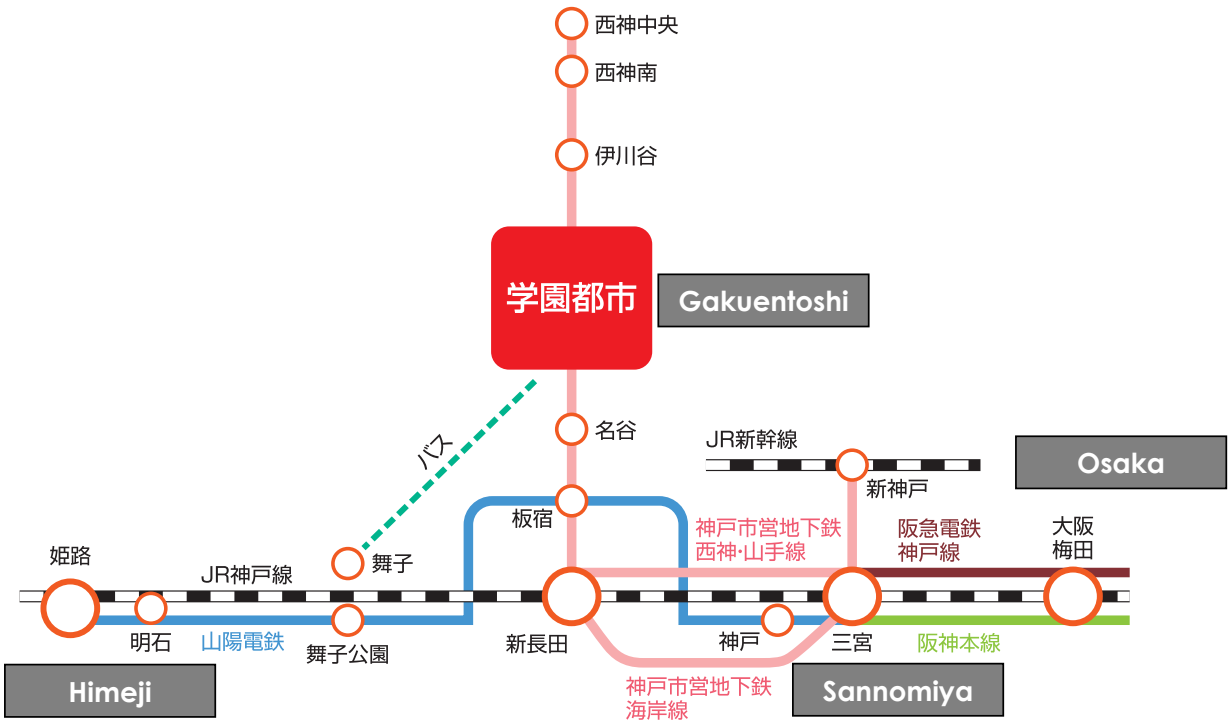








交通アクセス　Access



大阪方面から（約 60 分）

JR・阪神・阪急「三宮」駅より神戸市営地下鉄西神山手線「西神中央方面」に乗り換え、
「学園都市駅」下車北へ徒歩 5 分

姫路・明石方面から

JR「新長田」駅より神戸市営地下鉄西神山手線「西神中央方面」に乗り換え、「学園都市駅」下車（約 13 分）、北へ徒歩 5 分

JR「舞子」駅より「学園都市駅行き」のバスに乗り、「学園都市」駅（約 30 分）下車、北へ徒歩約 5 分

JR「明石」駅より神姫バス 57 系統「学園都市駅行き」のバスに乗り、「学園東町」駅（約 40 分）下車、北へ徒歩約 1 分

地下鉄時刻表　Subway Timetable

三宮 → 学園都市　　学園都市 → 三宮

Sannomiya → Gakuentoshi　　Gakuentoshi → Sannomiya

神戸市営地下鉄（西神・山手線） KOBE SUBWAY (Seishin-Yamate Line)

S03 三宮駅 時刻表

Sannomiya Station Timetable

	平日 Weekdays 三宮駅 発 ⇒名谷・西神中央方面行き
5	28 41 51
6	5 16 26 38 47 56
7	5 12 19 23 28 33 38 42 46 49 □52 56 59
8	2 □5 8 11 14 17 20 □23 26 □29 32 □35 38 □41 44 47 50 □53 57
9	□1 6 13 □16 20 □25 30 38 44 51 58
10	5 12 20 28 36 43 51 58
11	6 13 21 28 36 43 51 58
12	6 13 21 28 36 43 51 58
13	6 13 21 28 36 43 51 58
14	6 13 21 28 36 43 51 58
15	6 13 21 28 36 43 51 58
16	6 13 21 28 36 41 46 51 56
17	1 6 12 17 23 29 34 39 45 51 56
18	1 6 12 17 22 28 33 38 44 49 55
19	1 7 13 19 25 31 37 43 49 55
20	1 7 13 19 25 31 37 43 49 55
21	1 7 13 19 25 31 38 45 52
22	0 6 13 21 27 34 42 52 □58
23	2 □10 14 26 38 50
0	5 19 34

□名谷行き　□＝For Myōdani

神戸市営地下鉄（西神・山手線） KOBE SUBWAY (Seishin-Yamate Line)

S14 学園都市駅 時刻表

Gakuentoshi Station Timetable

	平日 Weekdays 学園都市駅 発 ⇒名谷・三宮・新神戸・谷上方面行き
5	30 41 50
6	1 14 23 36 42 51
7	0 6 10 14 17 20 24 27 30 33 36 39 42 45 48 51 54 57
8	0 4 7 10 13 18 22 25 29 34 39 45 49 54
9	0 6 12 18 25 32 39 46 53
10	0 7 15 22 30 37 45 52
11	0 7 15 22 30 37 45 52
12	0 7 15 22 30 37 45 52
13	0 7 15 22 30 37 45 52
14	0 7 15 22 30 37 45 52
15	0 7 15 22 30 37 45 52
16	0 7 15 25 30 37 44 52 58
17	4 9 15 21 26 31 35 41 45 51 56
18	1 7 12 18 24 30 36 42 48 55
19	1 7 12 18 24 30 36 42 48 54
20	0 6 12 18 24 30 36 42 48 54
21	0 6 12 18 24 30 36 42 49 56
22	4 13 23 31 39 49
23	0 7 □13 23 32 41 □47 56
0	9 □22 □33 □48

□名谷行き　＿新神戸行き　□＝For Myōdani　＿＝For Shinkōbe

出展賛助会員一覧

Commercial Exhibits

1.	株式会社アドバンスト・メディア	Advanced Media, Inc.
2.	株式会社　アルク教育社	ALC Education Inc.
3.	(株)アンペール	Ampere Inc.
4.	株式会社内田洋行	UCHIDA YOKO CO., LTD
5.	(株)エデュケーショナルネットワーク	Educational Network Inc.
6.	株式会社エル・インターフェース	L-Interface
7.	カシオ計算機株式会社	Casio Computer Co., LTD.
8.	株式会社　教育測定研究所	The Japan Institute for Educational Measurement, Inc.
9.	株式会社　金星堂	Kinseido Publishing Co., Ltd.
10.	国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部	Council on International Educational Exchange (CIEE) Japan
11.	株式会社国際コミュニケーションズ・スクール	International Communications School Inc.
12.	G－TELP日本事務局	G-TELP Japan
13.	株式会社　成美堂	SEIBIDO PUBLISHING CO LTD.
14.	センゲージ ラーニング㈱	Cengage Learning K.K.
15.	株式会社ダインエド ジャパン	DynEd Japan Ltd.
16.	チエル株式会社	CHIeru Co., Ltd
17.	電子システム株式会社	DENSHI SYSTEM CO., LTD.
18.	パナソニック システムソリューションズ ジャパン(株)	Panasonic System Solutions Japan Co., Ltd
19.	株式会社パルデザイン	PAL DESIGN, Inc.
20.	株式会社　ピアソンエデュケーション	Pearson Education Japan
＊21.	BBC ワールドジャパン株式会社	BBC World Japan Limited
22.	日本ビクター株式会社	Victor Company of Japan, Limited
23.	北海道大学　メディアコミュニケーション研究院	Graduate School of International Media, Communication, and Tourism Studies / Hokkaido University
24.	HOYA 株式会社	HOYA CORPORATION
25.	株式会社 マクミラン ランゲージハウス	MACMILLAN LANGUAGEHOUSE
26.	株式会社ライトハウス	Lighthouse, inc.
27.	リアル・イングリッシュ・ブロードバンド株式会社	reallyenglish broadband,co., ltd.

＊謝辞・Acknowledgments

本大会では、賛助会員「BBC ワールドジャパン株式会社」から、記念品をご提供いただきました。
ここにお礼を申し上げます。

外国語教育メディア学会（LET）
第 49 回外国語教育メディア学会
実行委員

大会実行委員長	竹内 理（関西大学）	
大会担当副支部長	東 淳一（流通科学大学）	
大会事務局長	水本 篤（流通科学大学）	
プログラム（全体企画）	山本 勝巳（関西福祉大学）	東 淳一（流通科学大学）
	竹内 理（関西大学）	
プログラム（論文審査）	氏木 道人（関西学院大学）	池田 真生子（関西大学）
	神崎 和男（大阪電気通信大学）	小山 敏子（大阪大谷大学）
	竹内 理（関西大学）	山根 繁（関西大学）
	若本 夏美（同志社女子大学）	山西 博之（関西外国語大学短期大学部）
	EBERL, Derek（京都ノートルダム女子大学）	
プログラム（編集・出版）	住 政二郎（姫路獨協大学）	野口 ジュディー（武庫川女子大学）
	福島 祥行（大阪市立大学）	若本 夏美（同志社女子大学）
会場・機器	東 淳一（流通科学大学）	今井 裕之（兵庫教育大学）
	西本 有逸（京都教育大学）	松岡 博信（安田女子大学）
	住 政二郎（姫路獨協大学）	吉田 信介（関西大学）
	溝畑 保之（大阪府立鳳高等学校）	山西 博之（関西外国語大学短期大学部）
広告・展示	中西 正樹（摂南大学）	山西 博之（関西外国語大学短期大学部）
	水本 篤（流通科学大学）	
渉外・広報	佐々木 顕彦（関西学院中学部）	野村 和宏（神戸市外国語大学）
	吉田 信介（関西大学）	
接遇・懇親会	池田 真生子（関西大学）	氏木 道人（関西学院大学）
	有本 純（関西国際大学）	伊庭 緑（甲南大学）
	東 淳一（流通科学大学）	EBERL, Derek（京都ノートルダム女子大学）
アルバイト	水本 篤（流通科学大学）	神崎 和男（大阪電気通信大学）
	山本 誠子（神戸学院大学）	吉田 晴世（大阪教育大学）
受付	小山 敏子（大阪大谷大学）	池田 真生子（関西大学）
	氏木 道人（関西学院大学）	山本 勝巳（関西福祉大学）
	伊庭 緑（甲南大学）	吉田 晴世（大阪教育大学）
	横川 博一（神戸大学）	福島 祥行（大阪市立大学）
	野口 ジュディー（武庫川女子大学）	
会計	菅井 康祐（近畿大学）	山根 繁（関西大学）
記録	佐々木 顕彦（関西学院中学部）	住 政二郎（姫路獨協大学）

掲載情報の更新および訂正につきましては、以下のサイトをご確認ください。
http://let-kansai.org/2009